

令和4年度 認知症多職種連携研修会

認知症の介護負担軽減に向けて ～現場でのキーポイントを探る～

【研修のねらい】

認知症の行動心理症状(BPSD)は環境との相互作用に起因することが多く、医療処置だけで解決できるものではありません。

今回の研修では実際の認知症介護の現場に着目し、薬物治療と介護ケアの相互作用によって行動心理症状がどのように変化するのか事例を通して学び、コロナ禍における認知症患者のQOL向上と、介護者の負担軽減を図るためのポイントを探ります。



講師

小林 直人 先生

医療法人湖山荘

あずま通りクリニック 院長

【講師経歴】

医学博士、精神保健指定医
日本老年精神医学会：評議員・指導医・専門医
日本認知症学会：代議員・指導医・専門医
認知症疾患医療センター全国研修会：理事
日本精神神経学会：指導医・専門医
福島県立医科大学医学部（H11 卒）
同大学神経精神医学講座助教、医局長、
附属病院安全管理部副部長を経て、平成23年4月より現職
福島県立医科大学臨床教授を兼任（もの忘れ外来）
【専門分野】
精神科一般、認知症疾患（認知症専門医）、
老年精神医学

参加無料

令和4年9月30日 金

19:00～20:30

ZOOMによる オンライン研修会

参加方法

申込者にZOOM会議室への入室コードを送付します
ZOOMアプリは各自でインストールして下さい
Googleで検索

申込方法

[伊達ネットワーク委員会](https://datenetwork.com/)のホームページから
又は右記QRコードからお申込み下さい
ホームページ <https://datenetwork.com/>

お問合せ

TEL：024-576-7881（伊達医師会内）
E-mail：datenetworkcom@gmail.com



9.30認知症の介護負担軽減にむけて

日本医師会生涯教育制度対象研修（1.0単位）
【カリキュラムコード】 29・認知能の障害